

安否情報を確認、発信するには

災害用伝言ダイヤル171

171 をダイヤルし、利用ガイダンスに従って伝言の録音・再生ができます。
※被災地の方の自宅などの電話番号を市外局番からダイヤル。

伝言の録音

171 → 1 → (0XX) XXX-XXXX → 録音

伝言の再生

171 → 2 → (0XX) XXX-XXXX → 再生

災害用伝言板

携帯電話から、「災害用伝言板」を利用することができます。

伝言の登録

災害用伝言板へのアクセス → 伝言の登録 → 送信

伝言の確認

災害用伝言板へのアクセス → 確認したい人の携帯電話番号の入力 → 検索

上記の方法以外では、パソコンやスマートフォンからNTTが提供する災害用ブロードバンド伝言板 (web171) が利用できます (https://www.web171.jp/top.php)。こちらにはメッセージのほか静止画や動画、音声データの登録もできます。

地震が起きたら

家庭では

●まず身の安全を

頭を保護し丈夫な机の下などに身を隠して、家具の転倒や落下物には十分に注意しましょう。

●すばやく火の始末

動けるようであれば、すばやくガス器具やストーブなどの火を消しましょう。元栓も締め、プラグを抜きます。万一出火しても天井に燃え移る前なら大丈夫です。あわてず消火をしましょう。

●戸を開けて出口の確認

揺れでドアが開かなくなることがあります。玄関、部屋のドア、窓などを開けて避難口を確認しましょう。

●あわてて外に飛び出さない

外ではガラスや瓦などが落ちてくることがあります。冷静に状況を判断しましょう。

●協力し合って救出活動、応急処置を

地域ぐるみで協力し合って応急救護の体制をとります。お年寄りや身体の不自由な人、けが人などに声をかけ、みんなで助け合いましょう。



屋外では

●人が大勢いる施設では

あわてて出口に走り出さないで、係員の指示に従って落ちついて行動しましょう。

●路上や街中にいた場合は

ブロック塀や自動販売機の転倒に注意しましょう。看板や割れたガラスの落下に注意しましょう。

ビルなどの建物から離れ、持ち物や両手で頭を守り、近くの公園や広い場所に避難しましょう。

●エレベーターでは

ただちに各階のボタンをすべて押し、停止した階ですぐに降りましょう。停電などで閉じ込められた場合は、非常ボタンを押し続け外部に助けを求めましょう。

●自動車運転中は

あわててスピードを落とさずに、ハザードランプを点灯させてまわりの車に注意を促します。急ブレーキはかけず、緩やかに速度を落とします。道路の左側に停止します。

●鉄道・バス乗車中は

つり革や手すりにはしっかりつかりましょう。



避難場所一覧

名称	いっしょ	避難所
一橋大学グラウンド	●	●
小平第四中学校	●	●
小平第十小学校	●	●
慈立小平南高校グラウンド	●	●
小平第十四小学校	●	●
慈立小平高校グラウンド	●	●
小平第一中学校	●	●
小平第二小学校	●	●
学園東小学校	●	●
国士交通大学校グラウンド	●	●
賢徳学校グラウンド	●	●
上水中学校	●	●
情報通信研究機構グラウンド	●	●
小平第三小学校	●	●
小平第七小学校	●	●
小平第三中学校	●	●
純本小学校	●	●
小平第八小学校	●	●
小平第七小学校	●	●
小平第六中学校	●	●
東京ガス武蔵野苑	●	●
丸井総合グラウンド	●	●
小平第十一小学校	●	●
小平第五小学校	●	●
花小金井南中学校	●	●
花小金井小学校	●	●
天神グラウンド	●	●
市民総合体育館	●	●
中央公民館	●	●
小川公民館	●	●
花小金井北公民館	●	●

名称	いっしょ	避難所
東部市民センター	●	●
小川第二地域センター	●	●
鈴木地域センター	●	●
大沼地域センター	●	●
上水南地域センター	●	●
中島地域センター	●	●
天神地域センター	●	●
上水本町地域センター	●	●
小川町二丁目地域センター	●	●
学園東地域センター	●	●
小川町地域センター	●	●
学園東地域センター	●	●
花小金井北地域センター	●	●
小川町地域センター	●	●
第壹地域センター	●	●
第貳地域センター	●	●

いっしょ避難場所・避難所

広域避難場所 (中央公園、小平公園、サレジオ学園、小金井カントリークラブほか)

火災が拡大し、いっしょ避難場所では危険であると判断される場合に、輻射熱や煙を回避し、安全を確保できる場所です。

いっしょ避難場所 (小・中学校、高校の校庭、近隣の公園・グラウンドほか)

火災などの発生により、このままでは自分に危険がおおぶと判断した場合に、公的な避難指示、または救護・援助を受けるために、まず避難し状況を把握できる場所です。

避難所 (総合体育館、市立小中学校、公民館)

住居を喪失するなど引き続き救護・救助を必要とされる場合に応急的な食料の配布などの保護を受けられる場所です。

二次避難所 (各地域センター、障害者福祉センター、ほのぼの館ほか)

災害時要援護者 (高齢者、障がい者、難病患者、妊産婦、乳幼児等) の方々が、状況に応じた医療や介護等の必要な支援を受けられる場所です。

避難するときは

避難する際は、火災発生防止のためブレーカーや電気製品の電源を切りましょう。アイロンや電気ストーブのような発熱する電気機器のスイッチを入れたままにすると、電気の復旧時に通電して周囲の物から発火し、火災につながる場合も考えられます。

地震などの災害に備えましょう

わが家の地震対策チェックポイント

- 家の耐震補強がされているか
- 家具の転倒・落下の防止、ガラスの飛散防止などの対策をとっているか
- 出入り口付近に避難の障害になるようなもの (古新聞、プリンターなど) を置いていないか
- 非常持ち出し品が常備されているか
- 避難する場所が確認できているか
- 家族が離れ離れになったときの安否確認方法は決めているか (左上参照)



あなたのまちにも自主防災組織を

災害時には、近所でお互いに協力し、助け合うことが被害の軽減につながります。地域の皆さんで話し合い、自主防災組織をつくるのが大切です。現在、多くの自主防災組織が市内で活動しています。

市では、自主防災組織の防災資器材の購入費や運営経費などの一部を補助しています。

※市報3月20日号の5面でも紹介しますのであわせてご覧ください。

義援金のお願い

小平市では、東京都市長会各市と連携して災害義援金の募金活動を実施します

募金箱

中央共同募金会を通じて被災者に分配されます

設置場所 市役所本庁舎受付、東部・西部出張所、健康福祉事務センター、福祉会館、社会福祉協議会事務局

問合せ 小平市社会福祉協議会 ☎042 (344) 1217



義援金の受付

●日本赤十字社
東北関東大震災義援金あて
全国の郵便局・ゆうちょ銀行 00140
- 8 - 507 (窓口での取り扱いには振替手数料免除。半券は受領証を兼ね、所得税法の寄付金に該当します)
問合せ 高齢者福祉課 ☎042 (346) 9537

●社会福祉法人中央共同募金会あて
りそな銀行、三井住友銀行ほか
※同じ銀行の支店間の送金は振込手数料がかりません。
問合せ 東京都共同募金会事業部 ☎03 (5292) 9182

8 市報こだいら（震災関連主要記事抜粋）

▽4月5日号

**震災に伴う
会議・催しの変更**

3月に発生した震災に伴い、小平市でも計画停電が実施されるなど、影響が出ています。そのため、震災発生後に発行している市報に掲載する会議や催しの日程は、中止・変更になる場合があります。詳しくは、各問合せ先へご確認ください。なお、公共施設の再開については、8面をご覧ください。
（秘書広報課）

**節電協力の
お願い**

このたびの震災では、節電のための公共施設の閉館時間の短縮など、ご不便をおかけしています。
電力需給のひっ迫が続く中、市民の皆さんには、不要な照明や電気機器の使用を控えるなど、いつもの節電をお願いします。
また、今後も震災に備え、家庭、地域や職場での協力的体制など、話し合っていたことをお願いします。
（小平市災害対策本部）

東北関東大震災 義援金のお願い

このたびの震災に対し、市民・企業・団体の皆さんのご協力をお願いします。

<p>小平市社会福祉協議会による募金箱の設置</p> <p>設置場所 市役所、東部・西部出張所、福祉会館、健康福祉事務センター、健康センター、社会福祉協議会ほか</p> <p>設置期間 4月28日(木)まで</p> <p>問合せ 小平市社会福祉協議会 ☎042 (344) 1217</p>	<p>郵便局・ゆうちょ銀行での義援金の受付</p> <p>口座記号番号 00140-8-507</p> <p>口座加入者名 日本赤十字社 東北関東大震災義援金</p> <p>取り扱い期間 9月30日(金)まで</p> <p>※窓口での取り扱いの場合は、振替手数料は免除。半券は受領証を兼ね、所得税法の寄付金に該当します。</p> <p>問合せ 高齢者福祉課 ☎042 (346) 9537</p>
--	---

**震災の影響で
ごみ処理工場がピンチ**

**みんなので救え
ごみ量30〜40%の減量を**

問合せ ごみ減量対策課 ☎(346)95535

▽4月20日号

**市内公共施設の
通常開館**

東日本大震災による被災者の方へ、心からお見舞い申し上げます。

◆ ◆ ◆

市内の公共施設は、震災に伴う節電協力のため、開館時間を短縮（夜間の利用は中止）してききましたが、電力需給の改善見通しを受け、4月16日（土）から、順次、通常開館しています（体育施設は5月1日（日）から）。

なお、電力消費の大きいグラウンドやテニスコートのナイター使用は、今後も当面の間、中止させていただきます。

※詳しくは、各施設へお問い合わせください。
（行政経営課）

**引き続き
ごみ減量の
お願い**

東日本大震災による東京電力の計画停電の実施に伴い、小平・村山・大和衛生組合のごみの焼却処理に大きな影響が出て、市民の皆さんには緊急に30〜40%のごみ減量のお願いと、粗大ごみの受付の中止を行い、ご迷惑をおかけしました。

現在、計画停電については「原則不実施」とするごことが発表され、滞りなくごみ処理が行えるようになり、粗大ごみの受付も再開しました。

しかし、今後も夏の電力不足が見込まれ、小平・村山・大和衛生組合は、25%の電力抑制対象となっております。

25%の節電対策を取ることと、ごみ処理に大きな影響がでることが予想されるため、市民の皆さんには、引き続きできる限りのごみの減量にご協力をお願いします。

問合せ ごみ減量対策課 ☎(346)95535

お願い

夏場に大幅な電力使用制限が実施されると、ごみ処理にも大きな影響が出る事が予想されます

**できる限りの
ごみの減量を**

問合せ ごみ減量対策課
☎042 (346) 9535



**避難先所在地などの
届 け 出 を**

東日本大震災に伴い、避難されている方からの情報提供を受け付けています。提供された情報は、避難前にお住まいだった県・市町村からの見舞金などの各種給付の連絡、税や保険料の減免・猶予・期間延長の通知などに利用されることとなります。

窓口では、本人確認をさせていただきますので、できるだけ本人確認書類を持

参していただき。
対象 東日本大震災に伴い、小平市に避難している方

受付窓口 市民課（市役所1階）東部・西部出張所、動く市役所

問合せ 市民課 ☎042 (346) 9804

被災者向け
民間住宅の
一時入居者を募集

場所 ㈱ブリヂストン社
使用期間 6か月間(予定)

使用料 免除（光熱水費は自己負担）
対象 東日本大震災で被災し、居住継続が困難になり市内に避難している方

募集戸数 11戸
設備 駐車場（1戸につき1台）
※エレベーターはありません。
※ガステーブル、照明器具、寝具、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、カーテンは貸与しません。

※詳しくは、市役所、公民館、図書館、地域センターなどに置いてあるチラシまたは小平市ホームページをご覧ください。

申込み 5月27日（金）までに、申込書（申込み先にあります）を市民課（市役

**東日本大震災に伴い
避難されている方へ**



市職員の軽装を実施します

地球温暖化の防止・節電対策のため、5月23日（月）から10月10日（月・祝）まで実施します。冷房温度は28度を目安にします。皆さんも、軽装でこ来庁ください。〈環境保全課〉



所1階）または東部・西部出張所へ持参（電話・送付・ファクシミリ不可、申込み多数の場合は5月30日（月）に抽選）

問合せ 市民課 ☎042 (346) 9520

**小規模事業者の
皆さんへ**

**経営安定のための
事業資金融資
あ つ せ ん**

東日本大震災後の電力不足、流通の停滞および個人消費の落ち込みなどにより、経営の安定に支障が生じている小規模事業者の資金繰りを支援します。

小平市不況対策特別資金融資あつせん制度を拡充して、融資限度額を5百万円に拡大し、返済期間を5年以内に延長しました。

※申込要件となるセーフティネット保証（5号）認定の取り扱いは、平成23年9月30日までとなっていますのでご注意ください。

※対象や条件など、詳しくはお問い合わせください。

問合せ 産業振興課 ☎042 (346) 95004

6月は環境月間

みんなので取り組もう 節電対策

東日本大震災の影響により、今年の夏は厳しい電力不足が予想されています。特に、7月～9月の平日の

これを機会に生活スタイルを根本から見直し、みんな地球環境と調和する社会を目指しましょう。

で、その約半分がエアコンの消費電力です。

消費電力が大きい電気製品は、日中を避けて使用する

など、ちよつとした工夫で効果的な節電（左表）

に取り組むことができ、経費と二酸化炭素の排出を減らす一石二鳥の効果があります。今日から実践してみ

ましよう。

事業所では、多くの電力

を必要とする機器の電源オフの徹底

パソコンなどOA機器の省エネモード設定

昼休みなどの不要時の照明・空調の停止

共用部照明の間引き

ネオンサインや看板の消灯

窓際での自然光利用による照明の消灯

バックヤード（保管庫など）のこまめな消灯

室内温湿度の適正化（外気の適正利用）

空調の就業前予熱時間の短縮や余熱利用による早めの空調停止

厨房などの過度な換気の適正化、駐車場換気の不要時の停止

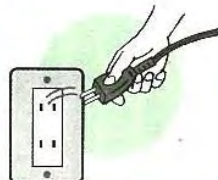
空調・換気フィルターの清掃

事業所での節電対策

全体/OA機器	不要な機器の電源オフの徹底
照明	パソコンの不要時、離席時の電源オフ
	パソコンなどOA機器の省エネモード設定
空調	昼休みなどの不要時の照明・空調の停止
	共用部照明の間引き
その他	ネオンサインや看板の消灯
	窓際での自然光利用による照明の消灯
空調	バックヤード（保管庫など）のこまめな消灯
	室内温湿度の適正化（外気の適正利用）
その他	空調の就業前予熱時間の短縮や余熱利用による早めの空調停止
	厨房などの過度な換気の適正化、駐車場換気の不要時の停止
その他	空調・換気フィルターの清掃
	便座ヒーターなどの停止
その他	自動販売機の照明停止
	節水の徹底
その他	冷凍ショーケースのナイトカバー利用など

(東京都)

また、節電の取り組みは、二酸化炭素排出量の削減にもつながり、地球温暖化の防止にも役立ちます。



こまめに節電

家庭での節電対策

節電対策メニュー		節電効果	
		削減率	削減消費電力
エアコン	室温28℃を心がける	10%	130W ※設定温度を2℃上げた場合。
	すだれやよしずなどで窓からの日差しを和らげる（エアコンの節電）	10%	120W
	無理のない範囲でエアコンを消し、扇風機を使う ※除湿運転や頻繁な電源のオンオフは電力の増加になるので注意。	50%	600W
冷蔵庫	冷蔵庫の設定を「強」から「中」に変え、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品を詰め込まないようにする	2%	25W
照明	日中は照明を消し、夜間も照明をできるだけ減らす	5%	60W
テレビ	省エネモードに設定し、画面の輝度を下げ、必要な時以外は消す	2%	25W ※省エネモードに設定し、使用時間を2/3に減らした場合。
温水洗浄便座（暖房便座）	便座保温・温水のオフ機能、タイマー節電機能があれば利用する 上記の機能がなければコンセントからプラグを抜く	1%未満	5W
ジャー炊飯器	早朝にタイマー機能で1日分をまとめて炊き、冷蔵庫に保存する	2%	25W
待機電力	本体の主電源を切り、長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜く	2%	25W

エアコンの控えすぎによる熱中症などに気を付け、削減率の合計が15%を超えるように無理のない範囲で節電しましょう。
※節電効果の記載値は、在宅世帯の平均的消費電力（午後2時、約1,200W）に対する削減率と削減消費電力の目安です（資源エネルギー庁推計）。また、削減率は全て小数点以下を切り捨てています。（資源エネルギー庁）

事業所では、多くの電力

を必要とする機器の電源オフの徹底

パソコンなどOA機器の省エネモード設定

昼休みなどの不要時の照明・空調の停止

共用部照明の間引き

ネオンサインや看板の消灯

窓際での自然光利用による照明の消灯

バックヤード（保管庫など）のこまめな消灯

室内温湿度の適正化（外気の適正利用）

空調の就業前予熱時間の短縮や余熱利用による早めの空調停止

厨房などの過度な換気の適正化、駐車場換気の不要時の停止

空調・換気フィルターの清掃

便座ヒーターなどの停止

自動販売機の照明停止



健康で安心して暮らせる環境をつくり、将来の世代に引き継ぐことが求められています。資源には限りがあります。

ます。廃棄物の発生や、水、エネルギーの消費を抑制しましょう。物や資源を大切に、再生利用して「もったいない」を実行しましょう。

（環境保全課）